

# OPEN CAMPUS

淑徳大学東京キャンパス

2023年度

体験授業 テーマ一覧

## 人文学部 歴史学科



○内容は変更になる場合がございます。○体験授業への参加はオープンキャンパスの事前予約が必要となります。

日付	担当講師	テーマ	概要
6/25 日	 浜野 兼一	「明治政府が断行した 西欧化教育改革」	明治政府が掲げた日本社会の近代化に伴って、教育制度にも大きな変革の波が押し寄せることとなりました。今回は、教育立国日本の教育改革について、時代背景や関わった人物を中心に取り上げます。
7/23 日	 三宅 俊彦	「古銭の拓本をとろう」	考古学の調査方法である、拓本の取り方について、体験していただきます。今回は古銭を使ってみたいと思います。中世の日本では、渡来銭と呼ばれる中国から来たお金が広く流通していました。古銭という考古資料から、どんな方法で情報を引き出すのか、一緒に探ってみましょう。
8/6 日	 遠藤 ゆり子	「戦国大名 伊達氏の謎を解く」	戦国大名と聞いて、どのようなイメージを持ちますか？いつも戦いばかりしていたというイメージでしょうか？伊達氏の家法である「塵芥集」を読むと、戦国大名の意外な一面が見えてきます。伊達氏はなぜこのようなルールを作ったのか？一緒に考えてみませんか？
8/27 日	 鈴木 織恵	「清少納言と紫式部 —『悪口』の真相は？—」	平安時代の女性文学を代表する『枕草子』の作者・清少納言と、『源氏物語』の作者・紫式部。紫式部の日記『紫式部日記』には、清少納言の「悪口」が書かれています。なぜ紫式部は、清少納言の「悪口」を書いたのでしょうか。二人の関係から、藤原道長の摂関政治の時代について考えます。
9/10 日	 森田 喜久男	「神話からさぐる 日本人の起源」	日本人はどこから来たのか？近年、遺伝子解析などさまざまなアプローチが行われていますが、この体験授業では、神話を通して日本人のルーツを考えてみます。それは、どんな神話か？ずばり、「食の神様殺人事件！」です。神話にまつわるスリルとサスペンス…。この授業が終わった後、皆さんが本屋さんに直行して『古事記』や『日本書紀』を買わずにいられない、そういう授業を目指します。

2024年

3/24



田中 洋平

**「江戸時代の古文書を  
読んでみよう」**

歴史学は、資料にもとづいて「何か」を発見する古くて新しい学問です。この体験授業では、江戸時代に実際に書かれた古文書史料を使用して、歴史学研究の一端に触れてもらいます。サポートしてくれる在学生と一緒に、江戸時代を体験してみましょう。スリリングな世界が待っているはずです。